



2022年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年4月8日

上場会社名 株式会社メディカルー光グループ 上場取引所 東
 コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南野 利久
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 酒向 良弘 (TEL) 059(226)1193
 定時株主総会開催予定日 2022年5月25日 配当支払開始予定日 2022年5月2日
 有価証券報告書提出予定日 2022年5月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期の連結業績 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	33,595	6.3	1,275	24.1	1,357	13.0	852	2.1
2021年2月期	31,603	△1.4	1,028	△14.7	1,201	△1.9	834	4.1

(注) 包括利益 2022年2月期 838百万円 (16.4%) 2021年2月期 720百万円 (△6.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年2月期	226.92	—	7.8	4.7	3.8
2021年2月期	221.31	—	8.1	4.4	3.3

(参考) 持分法投資損益 2022年2月期 ー百万円 2021年2月期 ー百万円

(注) 1 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 当連結会計年度において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年2月期に係る各数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期	29,094	11,927	39.1	3,030.61
2021年2月期	28,554	10,484	36.7	2,791.36

(参考) 自己資本 2022年2月期 11,383百万円 2021年2月期 10,484百万円

(注) 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年2月期	1,135	△215	64	7,789
2021年2月期	1,822	△1,180	590	6,805

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年2月期	—	40.00	—	40.00	80.00	150	18.1	1.5
2022年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00	150	17.6	1.4
2023年2月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		17.6	

(注) 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年2月期につきましては実際の配当金の金額を記載しており、2022年2月期及び2023年2月期(予想)につきましては、株式分割後の金額を記載しております。

3. 2023年2月期の連結業績予想 (2022年3月1日～2023年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,330	3.1	690	7.0	690	1.1	460	3.6	122.46
通期	34,450	2.5	1,380	8.2	1,400	3.1	855	0.3	227.63

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期	4,070,000株	2021年2月期	4,070,000株
② 期末自己株式数	2022年2月期	313,973株	2021年2月期	313,834株
③ 期中平均株式数	2022年2月期	3,756,060株	2021年2月期	3,772,907株

(注) 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(企業結合等関係)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	16
(1) 役員の異動	16
(2) その他	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2021年3月1日～2022年2月28日)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大を受けた緊急事態宣言やまん延防止等重点措置など、当連結会計年度を通して、各種制限措置の影響を長く受ける厳しい状況が続きました。一方、ワクチン接種が浸透し、社会全般におけるウィズコロナ対策も広く定着しつつあります。当連結会計年度第4四半期には、オミクロン株の広まりから個人消費は一時的に減速が見られたものの、今後は緩やかに景気が持ち直していくことが期待されています。

このような環境のもと、当社グループは、引き続き感染防止対策を徹底し、患者さま、利用者さまの安全確保に取り組み、事業活動の継続に努めてまいりました。

調剤薬局事業におきましては、地域包括ケアシステムの一翼を担うべく、地域連携薬局や健康サポート薬局の拡大に努めてまいりました。また、薬局へのご来店が困難な患者さまに対する新たな店舗の開設等にも取り組み、地域の皆さまに選ばれる薬局づくりを行っております。

ヘルスケア事業におきましては、コロナ禍における利用控えが続く中、介護サービス利用者さまが安心して施設を利用できる体制を整えるべく、安定的に介護人材を確保し、介護サービスの質の向上に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高33,595百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益1,275百万円(前年同期比24.1%増)、経常利益1,357百万円(前年同期比13.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は852百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、2021年9月末に緊急事態宣言が解除され、医療機関への受診抑制緩和が進み、既存店の応需処方箋枚数は回復に向かいました。当連結会計年度第4四半期よりオミクロン株の影響から、応需処方箋枚数回復の足取りに鈍さが見られたものの、当連結会計年度を通しては前年度を上回る結果となりました。薬剤料単価は薬価改定の影響から下落しておりますが、調剤薬局事業全体の売上高は処方箋枚数の増加を背景に堅調に推移しました。

この結果、売上高22,731百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益1,549百万円(前年同期比18.6%増)となりました。なお、当連結会計年度末における当社グループの調剤薬局は合計93店舗となっております。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の第6波にみられる感染再拡大を受け、各施設における感染対策を従来以上に徹底し介護サービスの提供に努めてまいりました。入居系施設におきましては、2020年11月に有料老人ホームを運営する株式会社ライフケアのグループ化が通年で寄与し、入居者数の増加に繋がっております。通所介護事業におきましては第2四半期以降、利用控えに改善の兆しがみられましたが、コロナ感染再拡大を受け、足元の稼働率は伸び悩んでいる状況です。今後もウィズコロナ環境下における利用者さまの変化していくニーズに対応し、安心して快適に過ごせる介護サービスの実現により入居率と稼働率の向上に努めてまいります。

この結果、売上高7,813百万円(前年同期比17.0%増)、営業利益218百万円(前年同期比32.4%増)となりました。なお、当連結会計年度末における当社グループの居住系介護サービスは、合計42施設(居室数1,417室)、在宅系介護サービスにおいては、通所介護事業所22ヶ所、居宅介護支援事業所18ヶ所、小規模多機能ホーム10施設、福祉用具レンタル・販売7拠点、訪問介護事業所7ヶ所、訪問看護事業所3ヶ所、ショートステイ1施設と、幅広く介護サービスを提供しております。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、コロナ禍における営業活動の制約や外来診療の抑制等による需要減少は底を打ち、感染再拡大による波はあるものの、緩やかに回復基調にあります。また、経費抑制と効率化を進め収益性も改善がみられる状況にあります。

この結果、売上高2,819百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益113百万円(前年同期比37.5%増)となりました。(内部分売上を含む売上高は3,891百万円となり、前年同期比で4.6%増加しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高231百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益129百万円(前年同期比8.9%増)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益115百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として1,074百万円を消去するとともに、全社における共通経費として735百万円を計上しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は29,094百万円となり、前連結会計年度末と比較して539百万円増加いたしました。

流動資産の合計は14,577百万円となり、前連結会計年度末と比較して922百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が989百万円、売掛金が153百万円、商品が119百万円それぞれ増加し、流動資産のその他が339百万円減少したこと等によるものです。

固定資産の合計は14,516百万円となり、前連結会計年度末と比較して382百万円減少いたしました。これは主に、土地が562百万円増加し、建設仮勘定が453百万円、建物及び構築物が360百万円、のれんが213百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は17,166百万円となり、前連結会計年度末と比較して903百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)及び短期借入金が497百万円、流動負債のその他が339百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産合計は11,927百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,443百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が702百万円、非支配株主持分が544百万円、資本剰余金が227百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して984百万円増加し7,789百万円となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローで1,135百万円増加したこと、投資活動によるキャッシュ・フローで215百万円減少したこと、財務活動によるキャッシュ・フローで64百万円増加したことによるものです。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1,135百万円(前年同期比687百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,476百万円、減価償却費・のれん償却額870百万円などの増加要因と、法人税等の支払725百万円、売上債権の増加153百万円、投資有価証券売却益115百万円、たな卸資産の増加119百万円などの減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、215百万円(前年同期比965百万円の支出減少)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入750百万円などの増加要因と、投資有価証券の取得による支出699百万円、有形固定資産の取得による支出322百万円などの減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、64百万円(前年同期比526百万円の減少)となりました。これは主に、非支配株主からの払込みによる収入755百万円などの増加要因と、短期借入金及び長期借入金の純減少497百万円、配当金の支払150百万円などの減少要因によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期
自己資本比率(%)	36.2	36.4	38.8	36.7	39.1
時価ベースの自己資本比率(%)	86.6	65.9	62.9	39.6	32.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	7.3	21.6	5.6	6.5	10.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	20.3	8.3	31.6	33.8	19.2

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動によるキャッシュ・フロー/利払い

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の第6波に下げ止まりの傾向がみられるうえ、ウクライナ情勢等を背景とする資源高が国内景気に及ぼす影響が懸念されます。一方、2022年3月には国内18都道府県で実施されていたまん延防止等重点措置が解除されるなど、各種制限措置の緩和が進み、感染症の脅威を社会全体で下げながら、経済社会活動の正常化が進んでいくものとみられています。

このような環境のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症との共生に向けた取り組みを進め、引き続き患者さま、利用者さまの安全確保に注力しつつ事業展開を図ってまいります。また、2022年3月に、調剤薬局事業、医薬品卸事業の各部門におきまして、子会社を一部再編し、グループの一体的運営により経営の効率化と収益力の強化を図ってまいります。

通期の連結業績は、売上高34,450百万円、営業利益1,380百万円、経常利益1,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益855百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,003,288	7,992,461
売掛金	4,737,017	4,890,612
商品	1,095,008	1,214,011
その他	822,283	482,691
貸倒引当金	△2,708	△2,288
流動資産合計	13,654,889	14,577,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,413,344	12,451,837
減価償却累計額	△6,227,807	△6,626,522
建物及び構築物(純額)	6,185,536	5,825,315
車両運搬具	148,227	148,157
減価償却累計額	△110,838	△116,672
車両運搬具(純額)	37,388	31,484
工具、器具及び備品	1,468,455	1,567,397
減価償却累計額	△1,236,036	△1,327,384
工具、器具及び備品(純額)	232,418	240,013
土地	3,176,825	3,739,216
建設仮勘定	482,427	28,476
有形固定資産合計	10,114,596	9,864,505
無形固定資産		
のれん	1,749,837	1,536,222
その他	196,998	177,185
無形固定資産合計	1,946,836	1,713,408
投資その他の資産		
投資有価証券	1,090,920	1,104,507
繰延税金資産	407,543	419,897
敷金及び保証金	907,820	906,042
その他	431,693	508,408
投資その他の資産合計	2,837,978	2,938,856
固定資産合計	14,899,411	14,516,769
資産合計	28,554,301	29,094,256

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	45,547	46,847
買掛金	3,445,500	3,434,630
短期借入金	740,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	3,251,061	3,562,395
未払法人税等	359,759	279,828
賞与引当金	221,356	226,908
その他	1,034,774	695,487
流動負債合計	9,098,000	8,416,097
固定負債		
長期借入金	7,611,616	7,372,883
リース債務	245,328	207,131
退職給付に係る負債	696,054	761,406
その他	418,475	408,878
固定負債合計	8,971,473	8,750,301
負債合計	18,069,474	17,166,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	853,083	1,080,381
利益剰余金	9,246,542	9,948,627
自己株式	△541,555	△541,555
株主資本合計	10,475,069	11,404,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,310	△20,093
退職給付に係る調整累計額	2,446	△1,295
その他の包括利益累計額合計	9,756	△21,389
非支配株主持分	—	544,795
純資産合計	10,484,826	11,927,858
負債純資産合計	28,554,301	29,094,256

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
売上高	31,603,667	33,595,990
売上原価	28,400,440	29,981,292
売上総利益	3,203,226	3,614,698
販売費及び一般管理費	2,175,170	2,338,860
営業利益	1,028,056	1,275,838
営業外収益		
受取利息	1,499	1,430
受取配当金	25,849	29,234
助成金収入	179,375	54,593
違約金収入	—	24,000
受取保険金	17,463	—
その他	29,283	34,293
営業外収益合計	253,471	143,552
営業外費用		
支払利息	53,743	58,266
損害賠償金	17,468	—
その他	8,474	3,244
営業外費用合計	79,685	61,511
経常利益	1,201,842	1,357,878
特別利益		
固定資産売却益	2,231	29,654
投資有価証券売却益	324,201	115,370
特別利益合計	326,433	145,025
特別損失		
固定資産売却損	868	1,109
固定資産除却損	394	1,141
減損損失	80,338	9,900
投資有価証券売却損	2,517	—
投資有価証券評価損	—	9,939
賃貸借契約解約損	2,506	4,352
特別損失合計	86,626	26,442
税金等調整前当期純利益	1,441,649	1,476,461
法人税、住民税及び事業税	619,914	611,275
法人税等調整額	△13,258	△4,193
法人税等合計	606,656	607,081
当期純利益	834,993	869,379
非支配株主に帰属する当期純利益	—	17,051
親会社株主に帰属する当期純利益	834,993	852,328

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
当期純利益	834,993	869,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△107,824	△27,361
退職給付に係る調整額	△6,837	△3,742
その他の包括利益合計	△114,661	△31,104
包括利益	720,331	838,275
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	720,331	821,181
非支配株主に係る包括利益	—	17,093

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	917,000	837,050	8,572,458	△280,002	10,046,505
当期変動額					
剰余金の配当			△160,909		△160,909
親会社株主に帰属する当期純利益			834,993		834,993
自己株式の取得				△271,920	△271,920
自己株式の処分		16,033		10,366	26,400
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	16,033	674,083	△261,553	428,563
当期末残高	917,000	853,083	9,246,542	△541,555	10,475,069

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	115,134	9,283	124,418	—	10,170,924
当期変動額					
剰余金の配当					△160,909
親会社株主に帰属する当期純利益					834,993
自己株式の取得					△271,920
自己株式の処分					26,400
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△107,824	△6,837	△114,661	—	△114,661
当期変動額合計	△107,824	△6,837	△114,661	—	313,902
当期末残高	7,310	2,446	9,756	—	10,484,826

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	917,000	853,083	9,246,542	△541,555	10,475,069
当期変動額					
剰余金の配当			△150,243		△150,243
親会社株主に帰属する当期純利益			852,328		852,328
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		227,297			227,297
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	227,297	702,084	—	929,382
当期末残高	917,000	1,080,381	9,948,627	△541,555	11,404,452

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	7,310	2,446	9,756	—	10,484,826
当期変動額					
剰余金の配当					△150,243
親会社株主に帰属する当期純利益					852,328
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					227,297
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△27,404	△3,742	△31,146	544,795	513,649
当期変動額合計	△27,404	△3,742	△31,146	544,795	1,443,031
当期末残高	△20,093	△1,295	△21,389	544,795	11,927,858

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,441,649	1,476,461
減価償却費	629,340	628,351
減損損失	80,338	9,900
のれん償却額	208,377	242,121
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△574	△419
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25,991	5,551
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	44,015	59,980
受取利息及び受取配当金	△27,348	△30,665
支払利息	53,743	58,266
投資有価証券売却損益 (△は益)	△321,683	△115,370
固定資産売却損益 (△は益)	△1,363	△28,545
固定資産除却損	394	1,141
賃貸借契約解約損	2,506	4,352
売上債権の増減額 (△は増加)	86,165	△153,594
たな卸資産の増減額 (△は増加)	49,544	△119,002
仕入債務の増減額 (△は減少)	104,625	△9,570
未払費用の増減額 (△は減少)	△9,621	△60,748
預り保証金の増減額 (△は減少)	△5,846	△2,542
その他	148,979	△75,472
小計	2,457,251	1,890,194
利息及び配当金の受取額	26,276	29,662
利息の支払額	△53,904	△59,259
法人税等の支払額	△607,019	△725,551
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,822,603	1,135,046
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△470,384	△322,758
有形固定資産の売却による収入	8,656	2,380
無形固定資産の取得による支出	△17,972	△14,288
投資有価証券の取得による支出	△1,095,353	△699,269
投資有価証券の売却による収入	1,112,002	750,101
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△665,337	-
長期前払費用の取得による支出	△3,901	△25,686
敷金及び保証金の差入による支出	△27,123	△22,225
敷金及び保証金の回収による収入	19,271	21,476
その他	△40,463	94,750
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,180,605	△215,520

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	497,126	△570,000
長期借入れによる収入	3,970,000	3,700,000
長期借入金の返済による支出	△3,401,924	△3,627,398
非支配株主からの払込みによる収入	—	755,000
リース債務の返済による支出	△41,487	△42,614
自己株式の取得による支出	△271,920	—
配当金の支払額	△160,909	△150,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	590,883	64,743
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,232,881	984,268
現金及び現金同等物の期首残高	5,572,647	6,805,529
現金及び現金同等物の期末残高	6,805,529	7,789,797

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2020年11月1日付で行われた株式会社ライフケアとの企業結合について、前連結会計年度においては暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度において確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当期連結会計年度の連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額の見直しを反映しておりますが、重要な修正は生じておりません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、調剤薬局を運営する「調剤薬局事業」、居住系介護施設・通所介護事業所・訪問介護事業所の運営、医療・介護に付随する業務を行う「ヘルスケア事業」、医療機関等への医薬品の販売を行う「医薬品卸事業」、不動産の賃貸業務を行う「不動産事業」について、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、事業形態を基礎とした、「調剤薬局事業」、「ヘルスケア事業」、「医薬品卸事業」、「不動産事業」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースで集計しております。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への売上高	22,038,529	6,680,494	2,657,630	227,013	31,603,667	—	31,603,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	100	1,064,407	2,160	1,066,667	△1,066,667	—
計	22,038,529	6,680,594	3,722,037	229,173	32,670,334	△1,066,667	31,603,667
セグメント利益	1,307,238	165,116	82,730	119,053	1,674,138	△646,082	1,028,056
セグメント資産	7,436,628	9,846,726	1,352,889	1,627,519	20,263,763	8,290,537	28,554,301
その他の項目							
減価償却費 (注) 3	140,969	384,855	8,346	40,158	574,329	55,010	629,340
減損損失	80,338	—	—	—	80,338	—	80,338
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	128,494	77,666	400	—	206,560	257,689	464,250

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△646,082千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,329,650千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額8,290,537千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産14,771,518千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への売上高	22,731,094	7,813,769	2,819,452	231,673	33,595,990	—	33,595,990
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	600	1,072,373	1,530	1,074,503	△1,074,503	—
計	22,731,094	7,814,369	3,891,826	233,203	34,670,494	△1,074,503	33,595,990
セグメント利益	1,549,896	218,558	113,755	129,625	2,011,835	△735,997	1,275,838
セグメント資産	7,621,866	10,518,308	1,312,402	1,690,238	21,142,815	7,951,441	29,094,256
その他の項目							
減価償却費 (注) 3	143,838	396,828	7,848	39,957	588,474	39,877	628,351
減損損失	5,927	3,973	—	—	9,900	—	9,900
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	175,602	32,549	8,211	—	216,363	153,485	369,848

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△735,997千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,433,888千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額7,951,441千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産14,721,540千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業		
当期償却額	150,496	55,544	2,335	—	—	208,377
当期末残高	731,396	983,207	35,234	—	—	1,749,837

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業		
当期償却額	141,336	98,448	2,335	—	—	242,121
当期末残高	620,514	882,809	32,898	—	—	1,536,222

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)		当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	
1株当たり純資産額	2,791円36銭	1株当たり純資産額	3,030円61銭
1株当たり当期純利益金額	221円31銭	1株当たり当期純利益金額	226円92銭

- (注) 1 当社は、2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が実施されたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。
- 2 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	10,484,826	11,927,858
純資産の部の合計額から控除する金額(千円) (うち非支配株主持分(千円))	— (—)	544,795 (544,795)
普通株式に係る純資産額(千円)	10,484,826	11,383,062
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,756,166	3,756,027

- 4 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	834,993	852,328
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	834,993	852,328
普通株式の期中平均株式数(株)	3,772,907	3,756,060

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 退任予定取締役

取締役 小島 克己

② 新任取締役候補者

取締役 酒向 良弘 (現 上席執行役員)

③ 異動予定日

2022年5月25日

(2) その他

該当事項はありません。